

横浜セルロイドハウス収蔵
セルロイドカードコレクションの概要

2023年2月25日

横川正博(セルロイドハウス横浜館)

目的: セルロイドハウス横浜館所蔵のセルロイド製グリーティングカードを調査し、コレクションの特徴を把握するとともに、データベース化し、各種検索を可能にしたので報告する。

1. コレクションの概要

(1) 表1に示すように、総数**516枚**、うち約60%はフランス語だった。

表1：言語別カード数

言語種類	枚数	%
フランス語	322	62
英語	140	27
その他言語	39	8
図柄のみ(言語無)	15	3
合計	516	

(2) カードの種類と用途：

表2, 図1~3に例示したように、絵葉書(Post Card)、単体型(Simple Card)、複葉型(Composite Card)の3Typeに分類でき、それらの主要用途は以下の通りであった。

表2-1 カードの種類

Type	I: Post Card	II: Simple Card	III: Composite Card	カード数合計
全カード	265	118	133	516
内 フランス語	205	109	8	322
内 英語	39	5	96	140
内 他	21	4	29	54

表2-2 カードの主要用途

Type I フランス語 絵葉書	新年の祝い、相手のFirst Nameの聖人の祝日への祝い
Type II フランス語 単体型	初聖体拝領(*)の祝い、祈りの言葉
Type III 英語 複葉型	クリスマス・新年の祝い、誕生日の祝い

*カトリック教会で初めて聖体を拝領する祝いであり、個人のみならず、コミュニティーにとっての行事であった。

図1

<p>Type I フランス語 絵葉書 相手のFirst Nameの聖人の祝日への祝い (カードNo. 16)</p> <p>相手のFirst NameはM (Marie マリア) で祝日は8月15日</p> <p>図柄面と住所・メッセージ面。10センチーム (10/100フラン) の切手が貼られ投函されている。</p> <p>手書きのカードであり、セルロイドカード上の彩色はいつまでも色あせない。</p>	
	
<p>Bonne Fête (おめでとうございます)</p> <p>(送り主) Leon Petit レオン プティ氏</p>	<p>メッセージ:</p> <p>18 Août 1907. Vœux de Bonne Fête Bonne Santé (1907年8月18日、おめでとうございます。ご健康をお祈りします。)</p> <p>(宛先) Madame M. Rouzeliy 40 Rue des Entrepreneurs. Paris (パリ市のルゼリイ夫人宛)</p>

図2

<p>Type II フランス語 単体型 初聖体拝領の祝い。</p> <p>キリストの体を表すホスチア(丸の中に十字が記されている)、御血を表すカリス(盃)、そして花々が、初聖体拝領を象徴しているが、図案は宗教的のものから素朴な美しさを持つ手書き図案に移り変わっている。</p>	
<p>カードNo.207 初聖体拝領 伝統的図案</p>	<p>カードNo.15 初聖体拝領 手書きカード</p>
	
<p>26 Mars 1893 Souvenir de 1ère Communion (1893年3月26日初聖体拝領の思い出, JHS とはラテン語で“救い主イエス”)</p>	<p>Souvenir de Première Communion, (裏面記載: Yvonne Boyer 29 mai 1904 St-André-de-Sangonis)</p> <p>初聖体の思い出 - イボンヌ ボワイエ、1904年5月28日 サン タンドレ デ サンゴニ-南フランス-にて)</p>

図3

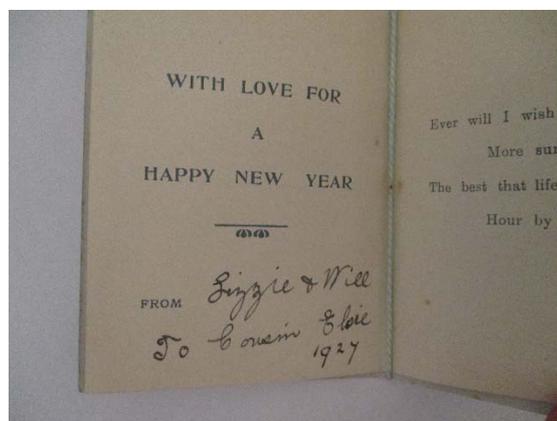
Type III 英語 複葉型 新年の祝い

カード No. 477 の外観（セルロイドで装飾されている）と中のメッセージカード（紙）

製造メーカー名の記載があり：Raphael Truck & Sons Ltd. Produced in UK



Happiness be yours



With Love for a Happy New Year
From Lizzie and Will
To Cousin Eloie 1927

(3) 使用年代

記述内容、或いは絵葉書の場合は消印より使用年代を概観すると、表3に示すようにカードの種類により使用された時代が異なることが推察された。

表3 カードの使用年代

Type	主に使用された時期
Type II フランス語 単体型	1905 年以前
Type I フランス語 絵葉書	1906 年-1920 年
Type III 英語 複葉型	1906 年以降

フランスの絵葉書は、絵葉書の黄金時代（1904 年から 1918 年の期間）と呼ばれる時代に製造、使用されたものである。またこの時代はベルエポック（19 世紀末から第一次世界大戦勃発の 1914 年までのパリが繁栄した華やかな時代）と呼ばれた時代であったことも追記する。

(4) 使用地域

記載内容、また宛名・送り主住所より使用地域を推定すると、フランス、イギリス以外の地域に絡むカードは 11 通のみであった。従って本コレクションはフランス、イギリスの国内流通カードが中心であると結論付けることができる。

またフランス語の絵葉書、初聖体の祝いカードについて、特定の地域への偏りはなく、ほぼフランス全域をカバーしていた。

2. まとめと今後の課題について：

本コレクションは、19世紀後半から20世紀初頭に作られフランス、イギリスで使用されたカードが主体であること、またカードの種類により使用された時期、用途が異なっていたことが判明した。

セルロイド絵葉書は、引火性が高く危険であったことより使用時期が制限され、結果残存数が少ない。これだけの数のセルロイドカードが集められたコレクションは、今後の研究にとって貴重なものであろう。

今後の課題として以下の事項を検討していきたい。

- ・ 絵画、書体に関する検討、特に流行、象徴性など文化史、美術史からのアプローチ。
- ・ 使用方法、記載内容の生活史、宗教史からの考察。
- ・ 郵便制度からの検討、絵葉書に貼られた切手は消印や印字より使用時期を確定できる可能性が高い。
- ・ セルロイド産業、加工技術、印刷技術など技術史的な考察。英国、ドイツで新しいセルロイドカードが製造される中でフランスが手書き図案を継続された理由は、フランスのセルロイドの製造の後進性によるものか？
- ・ カードビジネス、流通からのアプローチ

セルロイドハウス横浜は、セルロイドカードにご関心がある方、セルロイドカードをお持ちの方、また学術研究者の方々との情報交換を希望している。

以上